

Loopo ルーポ

モニターアーム

Iタイプ AMA-LP11□-□□□□ • AMA-LP14□-□□□□

Lタイプ AMA-LP12□-□□□□ • AMA-LP15□-□□□□

Lタイプロング AMA-LP13□-□□□□

デュアル AMA-LP23□-□□□□



Lタイプ



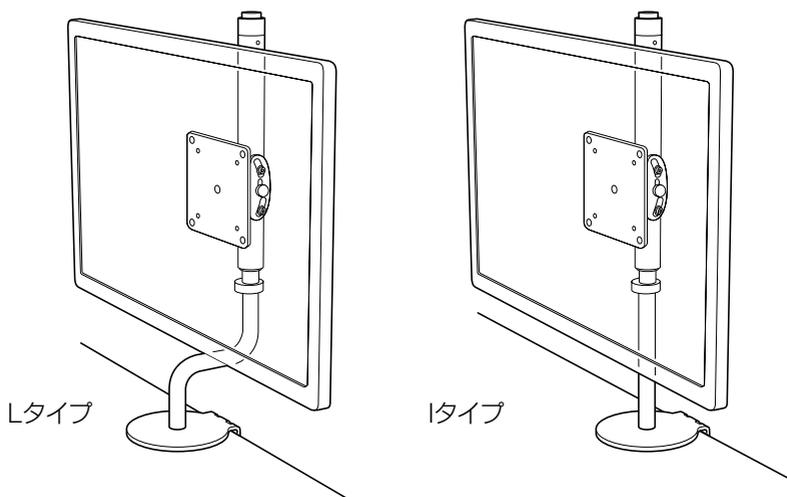
Iタイプ

1.Lタイプ・Iタイプの組み立てかた

△注意

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや製品・モニターを破損するおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
転倒や部品の落下により、けがや製品・モニターを破損するおそれがあります。
- 組み立て作業をするときは、指などをはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。
- 本製品はクランプを天板に固定した後にモニターを取り付けることができません。モニター取付業者様にクランプと天板の固定を依頼する場合は、モニター取付業者様に本組立説明書をお渡しください。(⑥ページ参照)

1 完成図



2 使用工具

組み立てる前に、使用工具を確認してください。

〈ご注意〉

電動工具を使ったり、無理な力を加えたりしないでください。

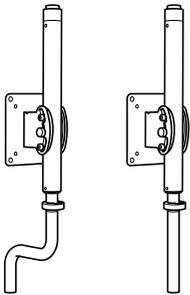
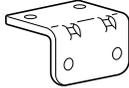
破損・変形する原因になります。

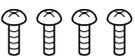
工具の種類
L型六角レンチ (対辺4mm)
⊕ドライバー (NO.2)

1.Lタイプ・Iタイプの組み立てかた

3 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

部品の種類	個数	
	クランプ 一体型	クランプ 分離型
 <p>Lタイプ Iタイプ</p> <p>本体</p> <p>どちらか 1</p>		
 <p>一体型 クランプ</p> <p>1</p> <p>—</p>	1	—
 <p>分離型 クランプ</p> <p>—</p> <p>1</p>	—	1
 <p>分離金具</p> <p>—</p> <p>1</p>	—	1
 <p>六角穴付 サラボルト M6×10</p> <p>—</p> <p>2</p>	—	2

部品の種類	個数	
	クランプ 一体型	クランプ 分離型
 <p>スチール天板用</p> <p>押上金具</p> <p>どちらか 1</p>  <p>木製天板用</p>		
 <p>VESA マウント用 ネジ M4×12</p> <p>4</p>		
 <p>VESA マウント用 ネジ M4×10</p> <p>4</p>		
 <p>M8ネジ</p> <p>2</p>		

1.Lタイプ・Iタイプの組み立てかた

4 取付条件の確認

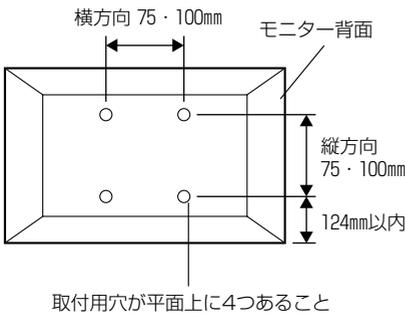
△注意

製品の取り付けは、下記の取付条件を必ず守ってください。

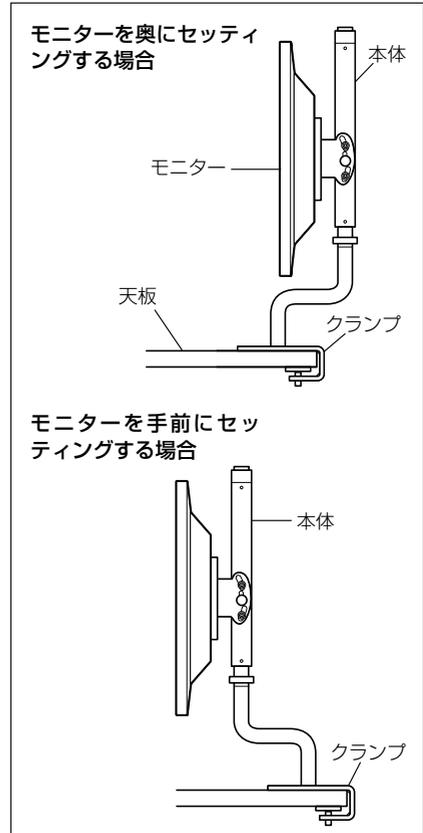
転倒によるけがや製品・モニターを破損するおそれがあります。

〈モニターの取付条件〉

- VESA75mm・100mm規格対応。
- 搭載可能モニター：20～27インチ
重量～5.5kgまで
- 耐荷重を超えるモニターは使用しないでください。
- Lタイプでモニターを奥にセッティングする場合は、VESA取付用の孔位置とモニター下部端面との距離が124mmまでのモニターをご使用下さい。124mm以上の場合、昇降時にモニター下部とアーム部が接触したり、昇降可動域が制限されてしまいます。



- 搭載可能モニターの重量範囲内でも曲面（湾曲）モニターは使用できません。平面パネルモニターに限ります。重量の偏り等が発生し、モニター取付部の上下の傾斜角度や左右の回転角度が保持できないおそれがありますのでご注意ください。



- WEBカメラ等の周辺機器をモニターに取り付ける場合、搭載可能モニターの重量の範囲内であっても、重量の偏り等が発生し、モニター取付部の上下の傾斜角度や左右の回転角度が保持できないおそれがありますのでご注意ください。
- モニターは付属していません。

1.Lタイプ・タイプの組み立てかた

〈テーブルへの取付条件〉

- 取付可能天板厚み：20～30mm
- 取付必須スペース：幅：130mm、奥行：140mm
- この製品を取り付けるデスクやテーブルが、アームやモニターの重量や安定性に十分に耐えられることを確認してから取り付けてください。

変形・破損・落下によるけがのおそれがあります。

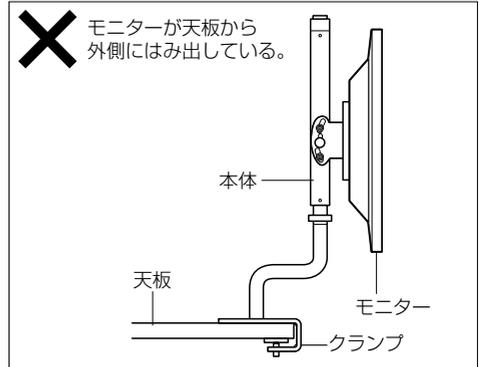
- 天板に十分な強度があることをご確認ください。スチール天板など内部が空洞になっている天板は、クランプ跡や凹みがつくおそれがあります。
- 表面が傷つきやすい天板(突板や集成材)や塗装している天板に取り付けしないでください。傷やクランプ跡がつくおそれがあります。
- キャスター付テーブル、折り畳み機能付きテーブル、単柱テーブルには取り付けしないでください。

転倒によるけがや破損のおそれがあります。

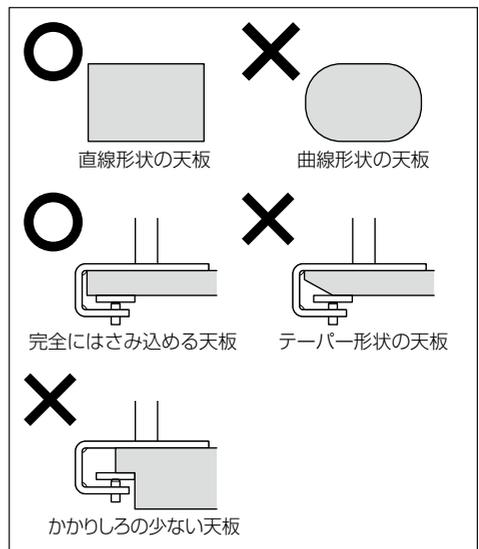
- ソロワーク使用の場合は配線カバー側に、ミーティング使用の場合は天板の短辺側の中央に取り付けてください。
- ミーティング使用の場合は、天板サイズが幅1200mm×奥行750mm未満のテーブルには取り付けしないでください。

転倒によるけがや破損のおそれがあります。

- モニターが天板の外にはみ出した状態で使用しないでください。転倒によるけがや破損のおそれがあります。



- 直線形状の天板のみ取付可能。曲線形状の天板には取付できません。
- クランプで天板を完全にはさみ込めることをご確認ください。テーパ形状の天板、かかりしろが少ない天板には取付できません。



1.Lタイプ・Iタイプの組み立てかた

- テーブルと壁が隣接している場合、水平可動範囲や首振り範囲が制限されます。
- ネジ固定をした際、支柱先端部に力を掛けると、机上面を破損させるおそれがあるので、設置場所の強度および力を掛けないよう注意してください。
- 天板裏に穴があいている場合、押上金具が穴にかからないようご注意ください。天板裏の穴が変形し、デスクの部材が取り付けられなくなるおそれがあります。
- 組立作業は2人以上で行ってください。

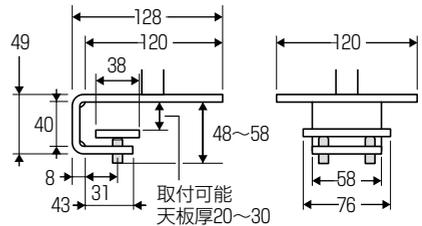
〈ワゴンとモニターアームの併用〉

背の高いワゴンを併用する場合はご注意ください。

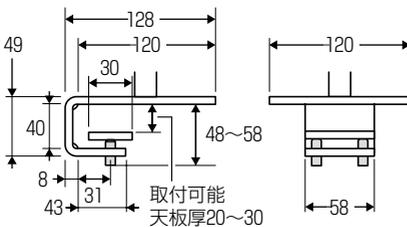
クランプ部に突起があり、ワゴンの天板と接触するおそれがあります。取り合いは右図「クランプの詳細寸法」をご参照ください。

クランプの詳細寸法

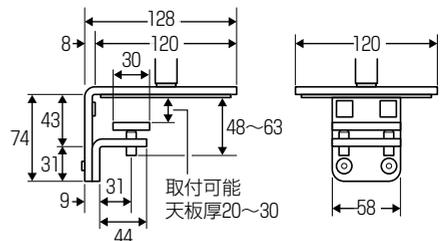
● スチール天板用



● 木製天板用 (一体型クランプ)



● 木製天板用 (分離型クランプ)



1.Lタイプ・Iタイプの組み立てかた

⑤ 本体の組み立て

本体をクランプに差し込んでください。

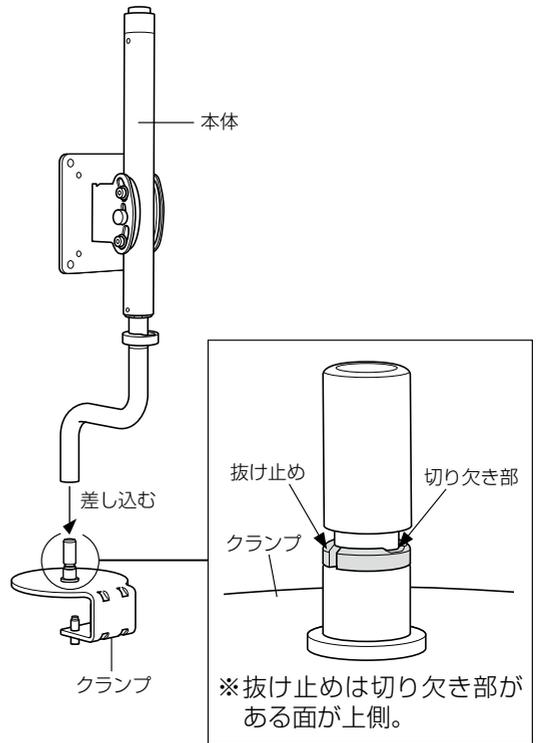
※図はLタイプ（一体型クランプ）で説明していますが、その他の場合も要領は同じです。

△注意

- 本体とクランプは、一度差し込むと抜けなくなります。
- クランプに抜け止めが付いていることをご確認ください。

抜け止めがないと昇降時に本体が外れてしまい、使用上危険です。絶対に外さないでください。

抜け止めが外れたときは、図の位置に抜け止めを取り付けてください。



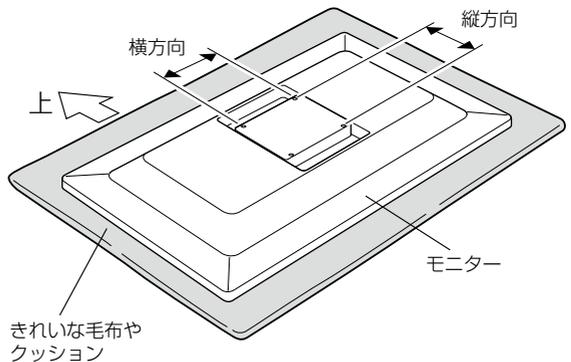
△注意

本製品はクランプを天板に固定した後にモニターを取り付けることができません。

モニター取付業者様にクランプと天板の固定を依頼する場合は、モニター取付業者様に本組立説明書をお渡しして、モニター取付業者様は、⑥の工程のあと、⑦もしくは⑧の工程へ進んでください。

⑥ モニターの取り付け (モニター取付業者様向け)

1. モニター台が付属している場合は、モニターの取扱説明書を参照して、取り外してください。
2. モニターを、きれいな毛布やクッション材の上に、表示部を下にして置いてください。



きれいな毛布やクッション

1.Lタイプ・Iタイプの組み立てかた

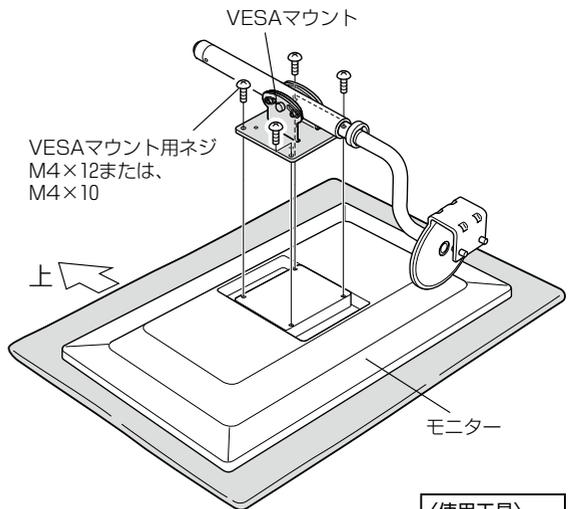
3.VESAマウントとモニターの穴位置を合わせて、付属のM4×12ネジあるいは、M4×10ネジを奥まで締め込んでください(4カ所)。

このとき、モニターとVESAマウントが水平に取り付けられていることをご確認ください。

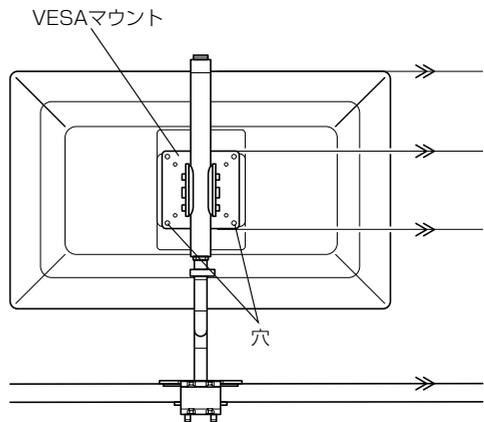
※固定ボルトのサイズは、モニターの取扱説明書を参照してください。

〈ご注意〉

- モニターの取り付けは、モニターに付属の取扱説明書を参照の上で作業を行ってください。
- 最後までボルトが締まらない場合や、ボルトが少ししか回っていない場合、ボルトの径が合わない場合は、市販の適切なボルトを使用してください。
- モニターが水平に取り付けられていても、モニターが左右に傾く場合がありますので、モニターアームをデスクに取り付けた後、必ずモニターの左右の傾きをご確認ください。デスクやテーブルに取り付けた後の調整方法は、「取扱説明書」(kokuyo.jp/how/loopo)の「3.使いかた」をご確認ください。



〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)



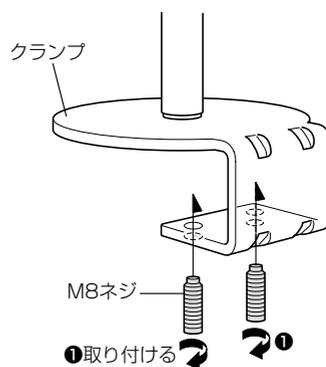
1.Lタイプ・Iタイプの組み立てかた

7 デスクへの取り付け

(一体型クランプの場合)

※図はLタイプで説明していますが、Iタイプの場合も要領は同じです。

1. クランプにM8ネジを取り付けてください。



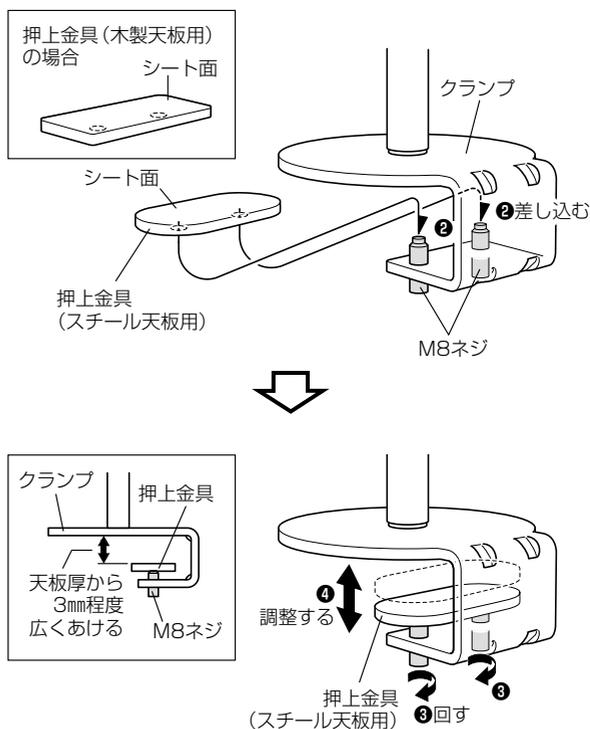
2. 押上金具をクランプのM8ネジに差し込んでください。

※このとき、押上金具はシート面を上にしてください。

〈ご注意〉

木製天板には押上金具(木製天板用)を、スチール天板には押上金具(スチール天板用)をご使用ください。

3. クランプのM8ネジを回し、押上金具とクランプのすき間が天板厚から3mm程度広くするように調整してください。

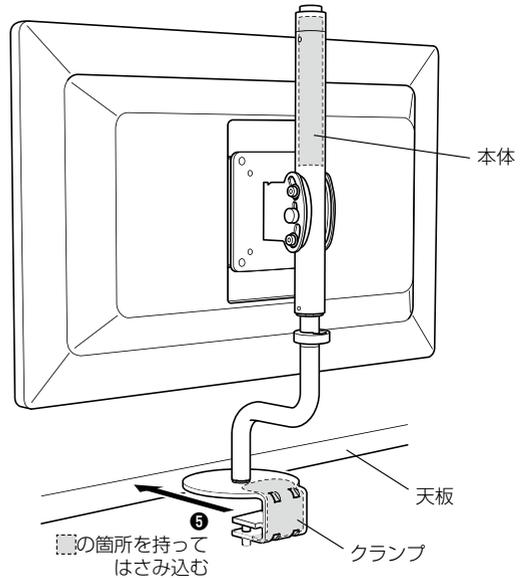


1.Lタイプ・Iタイプの組み立てかた

4.デスクの天板にクランプをはさみ込んでください。

〈ご注意〉

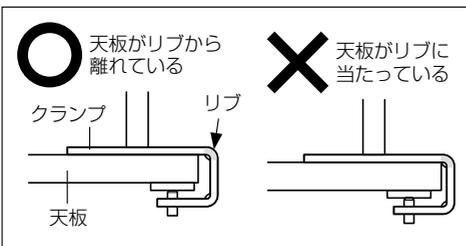
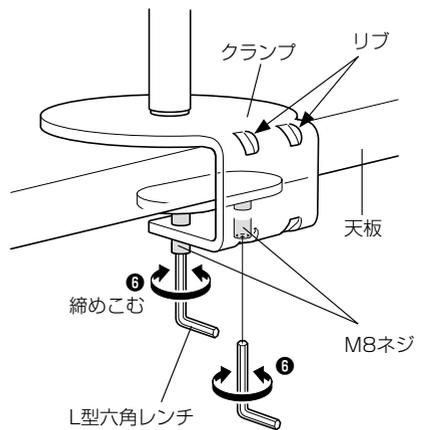
- モニターアームが動かないように図の \square の箇所を持ち、慎重にクランプを天板にはさみ込んでください。
- 組立作業は2人以上で行ってください。



5.「3」で調整したM8ネジを六角レンチで締めこみ、クランプを天板に固定してください。

〈ご注意〉

- このとき、クランプのリブが天板に当たらないようにご注意ください。
- 取付後、クランプが確実に固定されているか確認してください。



〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺4mm)

⚠注意

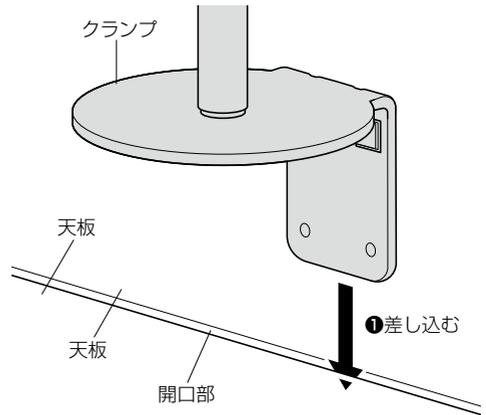
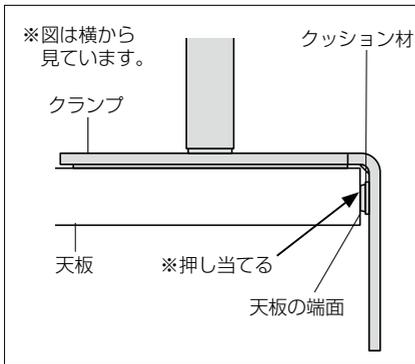
ネジを締め込みすぎないでください。
クランプが変形するおそれがあります。

1.Lタイプ・Iタイプの組み立てかた

8 デスクへの取り付け (分離型クランプの場合)

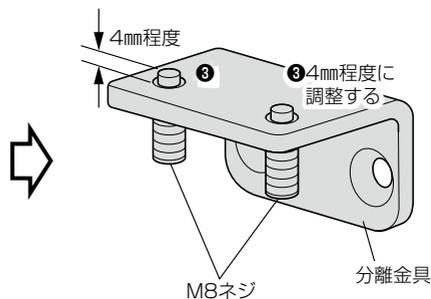
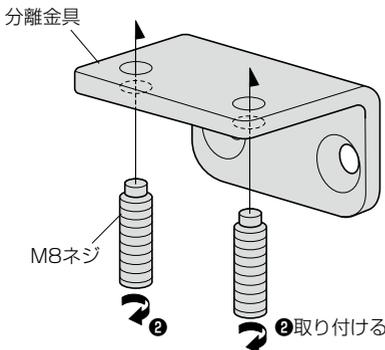
※図はLタイプで説明していますが、Iタイプの場合も要領は同じです。

1. デスクの天板の開口部にクランプを差し込んでください。
このとき、クッション材を天板の端面に押し当ててください。



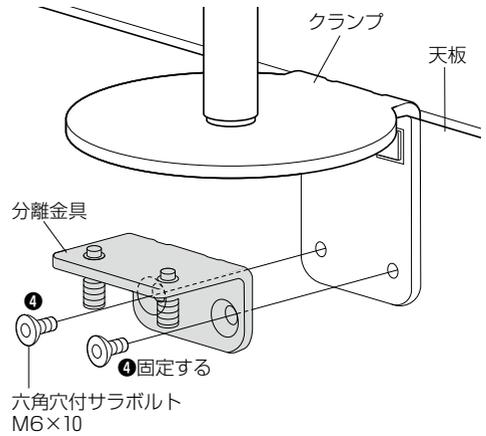
2. 分離金具にM8ネジを取り付けてください。

※このとき、M8ネジの先端が4mm程度飛び出すように調整してください。



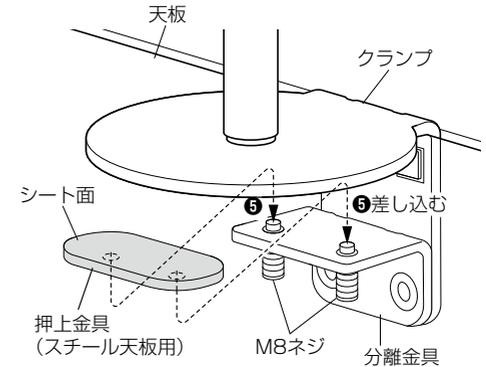
1.Lタイプ・タイプの組み立てかた

3. クランプに「2」で組み立てた分離金具をボルトで固定してください。

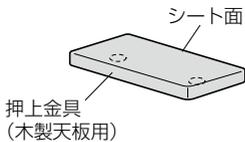


4. 押上金具を、図のように「2」で組み立てた分離金具のM8ネジに差し込んでください。このとき、押上金具はシート面を上にしてください

※木製天板には押上金具(木製天板用)を、スチール天板には押上金具(スチール天板用)をご使用ください。

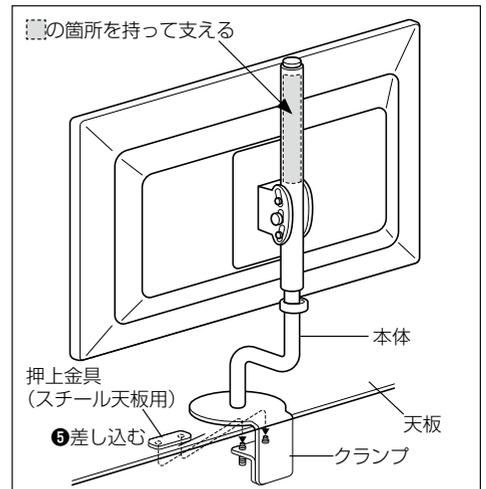


押上金具(木製天板用)の場合



〈ご注意〉

- 取り付けるデスクによっては、「1」～「4」の手順を入れ替えた方が作業を行いやすい場合があります。
- モニターアームが動かないように右図の箇所の箇所を持ち、慎重に押上金具を差し込んでください。
- 組立作業は2人以上で行ってください。

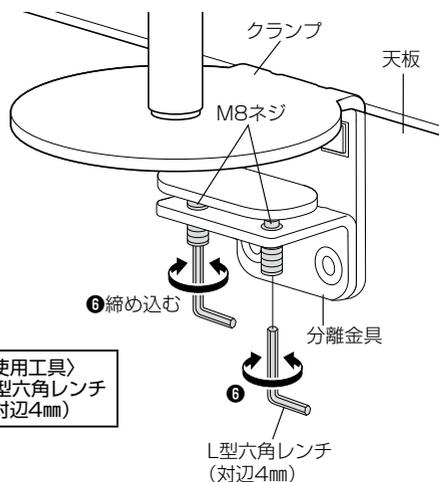


1.Lタイプ・Iタイプの組み立てかた

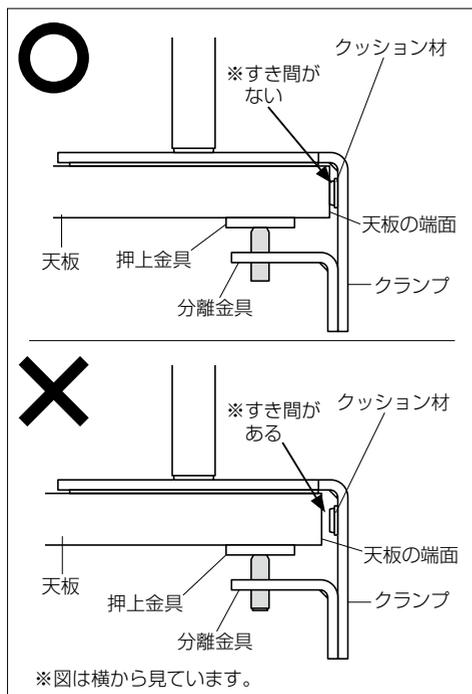
5.分離金具のM8ネジを六角レンチで締めこみ、クランプを天板に固定してください。

〈ご注意〉

- クランプのクッション材を天板の端面に押し当ててください。(「1」参照)
- 取付後、クランプが確実に固定されているか確認してください。



〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺4mm)



1.Lタイプ・Iタイプの組み立てかた

⑨ デスクからの取り外し

デスクからモニターアームを取り外す際は、

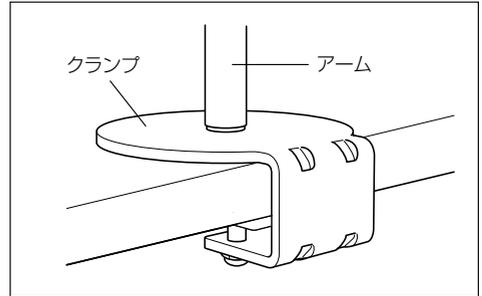
⑧ページ7の「3」～「5」もしくは⑩ページ

8の「3」～「5」の逆手順で行ってください。

△注意

クランプからアームを抜かないでください。

アームは抜けない仕様なので、無理に力を加えると、製品が破損します。

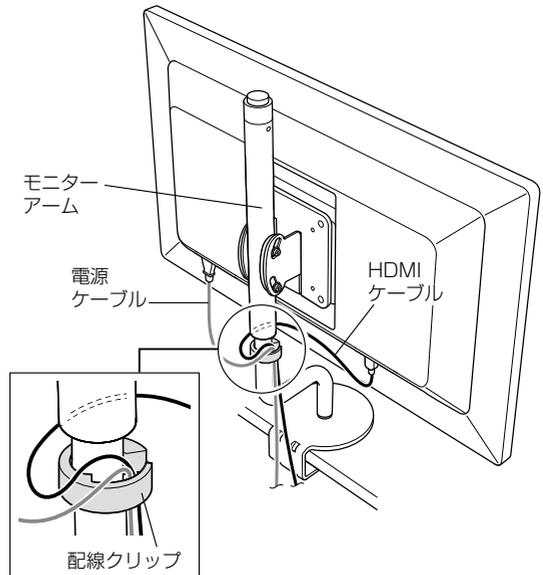
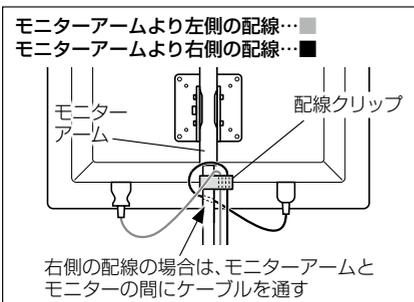


⑩ 配線のしかた

モニターの電源ケーブルとHDMIケーブルを、配線クリップに引っ掛けて配線してください。

〈ご注意〉

このとき、モニターを背面から見てモニターアームより右側にケーブルがある場合は、モニターアームとモニターの間にケーブルを通して配線クリップに引っ掛けてください。



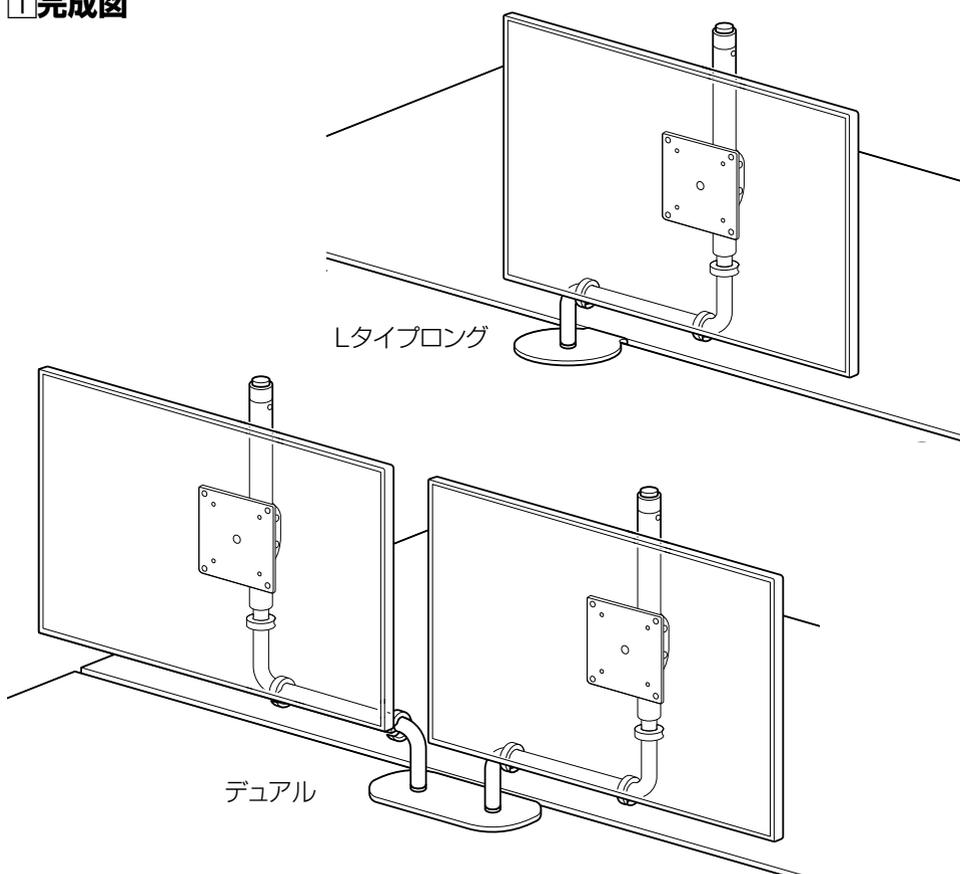
以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。

2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

△注意

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや製品・モニターを破損するおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
転倒や部品の落下により、けがや製品・モニターを破損するおそれがあります。
- 組み立て作業をするときは、指などははさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。
- 本製品はクランプを天板に固定した後にモニターを取り付けることができません。モニター取付業者様にクランプと天板の固定を依頼する場合は、モニター取付業者様に本組立説明書をお渡しください。(22ページ参照)

1 完成図



2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

2 使用工具

組み立てる前に、使用工具を確認してください。

〈ご注意〉

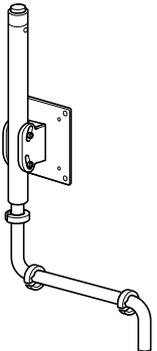
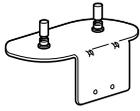
電動工具を使ったり、無理な力を加えたりしないでください。

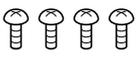
破損・変形する原因になります。

工具の種類
L型六角レンチ (対辺4mm)
⊕ドライバー (NO.2)

3 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

部品の種類		個数	
		Lタイプ ロング	デュアル
	本体	1	2
	Lタイプ ロング用 クランプ	1	-
	デュアル用 クランプ	-	1
	分離金具	1	1
	六角穴付 サラボルト M6×10	2	2

部品の種類		個数	
		Lタイプ ロング	デュアル
 スチール 天板用	押上金具	どちらか 1	どちらか 1
 木製 天板用			
	配線 クリップ	2	4
	VESA マウント 用ネジ M4×12	4	8
	VESA マウント 用ネジ M4×10	4	8
	M8ネジ	2	2

4 取付条件の確認

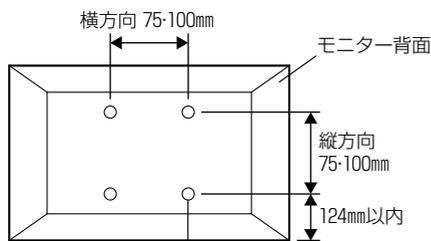
△注意

製品の取り付けは、下記の取付条件を必ず守ってください。

転倒によるけがや製品・モニターを破損するおそれがあります。

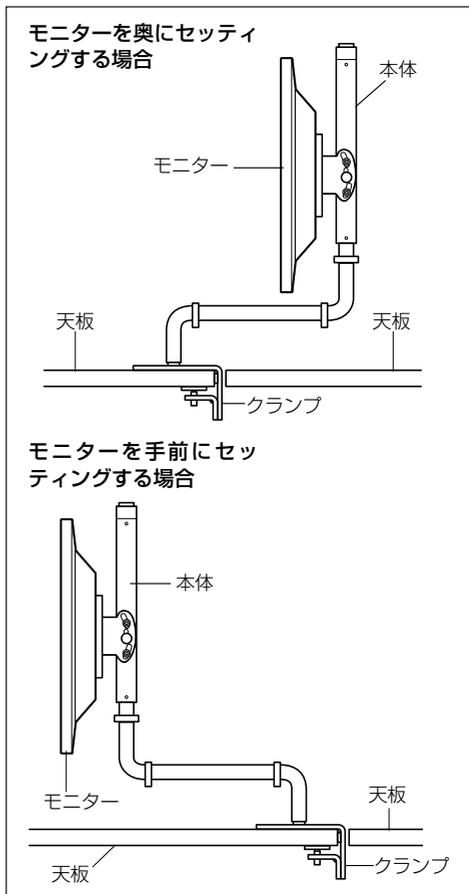
〈モニターの取付条件〉

- VESA75mm・100mm規格対応。
 - 搭載可能モニター：20～27インチ
重量～5.5kgまで
 - 耐荷重を超えるモニターは使用しないでください。
- ※デュアルタイプは、幅が615mmまでのモニターを使用してください。615mmを超える場合、モニター同士が接触したり旋回可動域が制限されてしまいます。
- Lタイプロング、デュアルでモニターを奥にセッティングする場合は、VESA取付用の孔位置とモニター下部端面との距離が124mmまでのモニターをご使用下さい。124mm以上の場合、昇降時にモニター下部とアーム部が接触したり、昇降可動域が制限されてしまいます。



取付用穴が平面上に4つあること

- 搭載可能モニターの重量範囲内でも曲面（湾曲）モニターは使用できません。平面パネルモニターに限ります。重量の偏り等が発生し、モニター取付部の上下の傾斜角度や左右の回転角度が保持できないおそれがありますのでご注意ください。



- WEBカメラ等の周辺機器をモニターに取り付ける場合、搭載可能モニターの重量の範囲内であっても、重量の偏り等が発生し、モニター取付部の上下の傾斜角度や左右の回転角度が保持できないおそれがありますのでご注意ください。
- モニターは付属していません。

2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

〈テーブルへの取付条件〉

- 取付可能天板厚み：20～30mm
- 取付必須スペース：幅：130mm、奥行：140mm
- この製品を取り付けるデスクやテーブルが、アームやモニターの重量や安定性に十分に耐えられることを確認してから取り付けてください。

変形・破損・落下によるけがのおそれがあります。

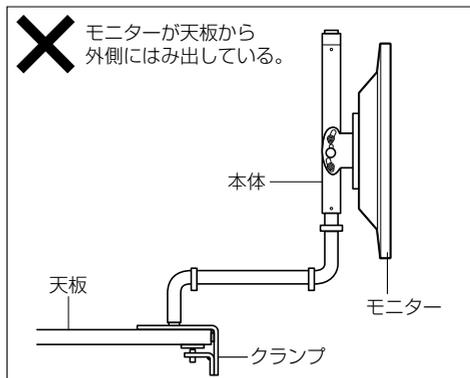
- 天板に十分な強度があることをご確認ください。スチール天板など内部が空洞になっている天板は、クランプ跡や凹みがつくおそれがあります。
- 表面が傷つきやすい天板(突板や集成材)や塗装している天板に取り付けしないでください。傷やクランプ跡がつくおそれがあります。
- キャスター付テーブル、折り畳み機能付きテーブル、単柱テーブルには取り付けしないでください。

転倒によるけがや破損のおそれがあります。

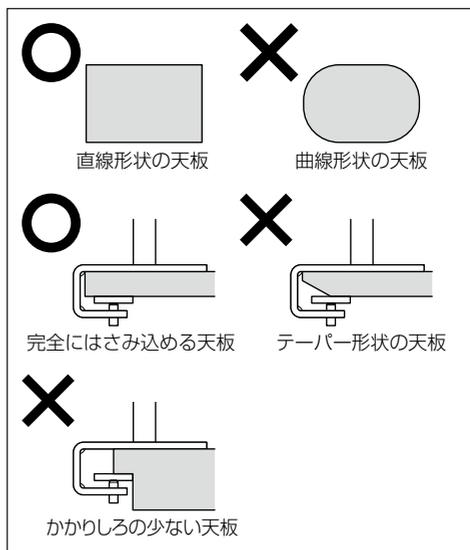
- ソロワーク使用の場合は配線カバー側に、ミーティング使用の場合は天板の短辺側の中央に取り付けてください。
- ミーティング使用の場合は、天板サイズが幅1200mm×奥行750mm未満のテーブルには取り付けしないでください。

転倒によるけがや破損のおそれがあります。

- モニターが天板の外にはみだした状態で使用しないでください。転倒によるけがや破損のおそれがあります。



- 直線形状の天板のみ取付可能。曲線形状の天板には取付できません。
- クランプで天板を完全にはさみ込めることをご確認ください。テーパ形状の天板、かかりしろが少ない天板には取付できません。



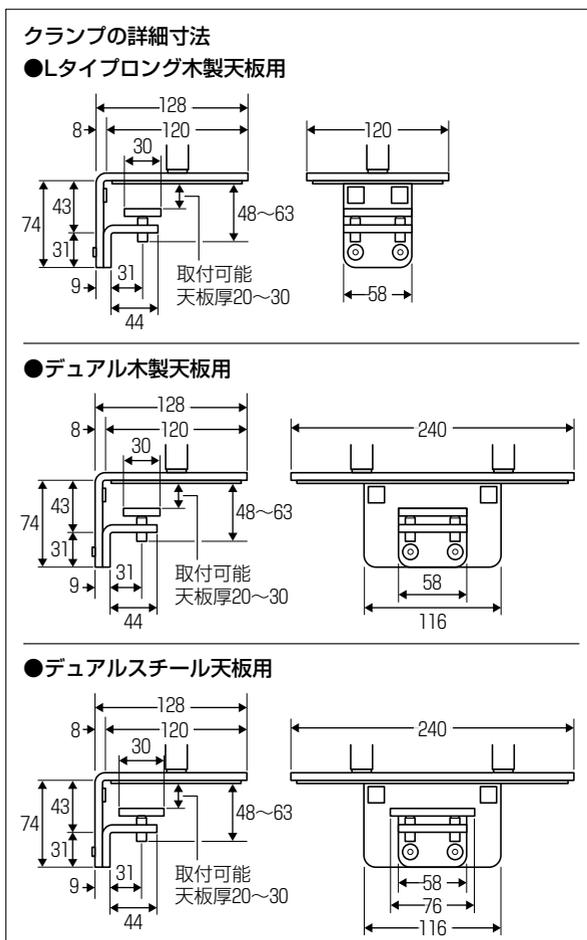
2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

- テーブルと壁が隣接している場合、水平可動範囲や首振り範囲が制限されます。
- ネジ固定をした際、支柱先端部に力を掛けると、机上面を破損させるおそれがあるので、設置場所の強度および力を掛けないよう注意してください。
- 天板裏に穴があいている場合、押上金具が穴にかからないようご注意ください。天板裏の穴が変形し、デスクの部品が取り付けられなくなるおそれがあります。
- 組立作業は2人以上で行ってください。

〈ワゴンとモニターアームの併用〉

背の高いワゴンを併用する場合はご注意ください。

クランプ部に突起があり、ワゴンの天板と接触するおそれがあります。取り合いは右図「クランプの詳細寸法」をご参照ください。



2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

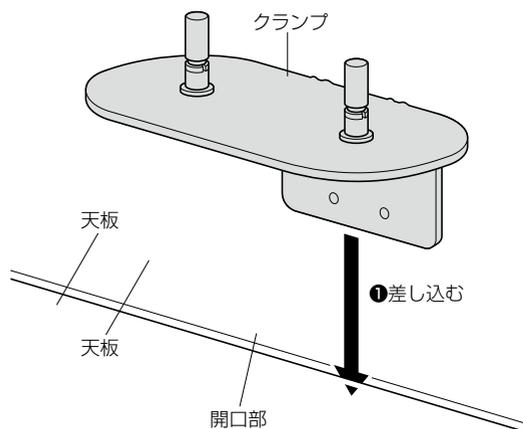
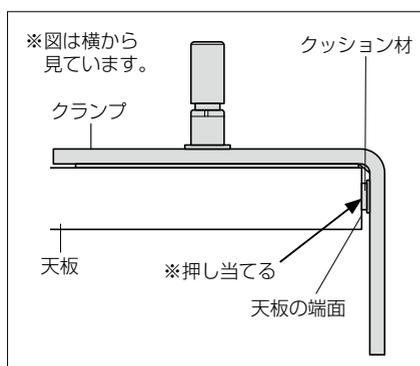
※この組立説明はデュアルで行なっています。

Lタイプロングは、形状は異なりますが組立方法は同じです。

5] デスクへの取り付け

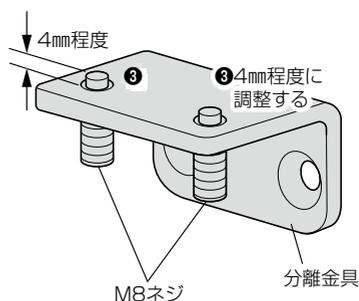
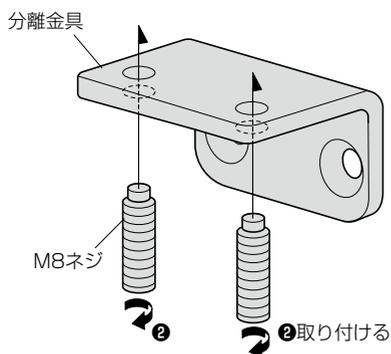
1. デスクの天板の開口部にクランプを差し込んでください。

このとき、クッション材を天板の端面に押し当ててください。



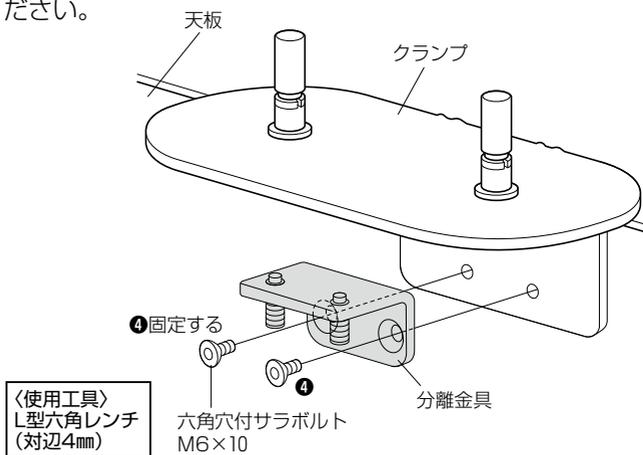
2. 分離金具にM8ネジを取り付けてください。

※このとき、M8ネジの先端が4mm程度飛び出すように調整してください。



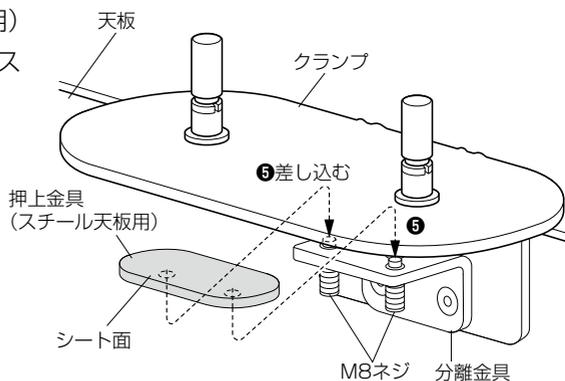
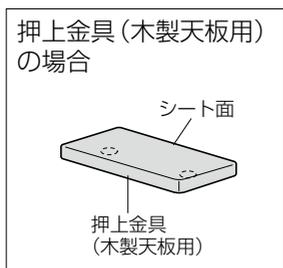
2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

3. クランプに「2」で組み立てた分離金具をボルトで固定してください。



4. 押上金具を、図のように「2」で組み立てた分離金具のM8ネジに差し込んでください。
このとき、押上金具はシート面を上にしてください

※木製天板には押上金具(木製天板用)を、スチール天板には押上金具(スチール天板用)をご使用ください。



〈ご注意〉

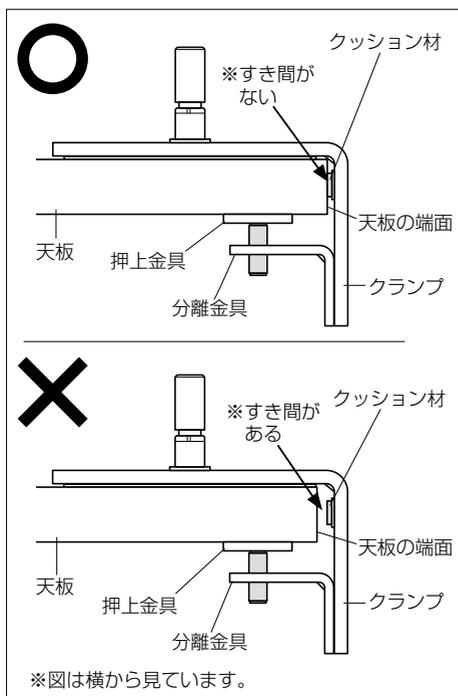
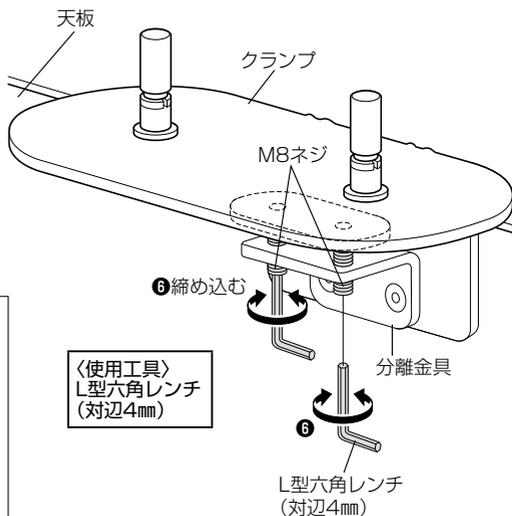
取り付けるデスクによっては、「1」～「4」の手順を入れ替えた方が作業を行いやすい場合があります。

2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

5.分離金具のM8ネジを六角レンチで締めこみ、クランプを天板に固定してください。

〈ご注意〉

- クランプのクッション材を天板の端面に押し当ててください。(「1」参照)
- 取付後、クランプが確実に固定されているか確認してください。

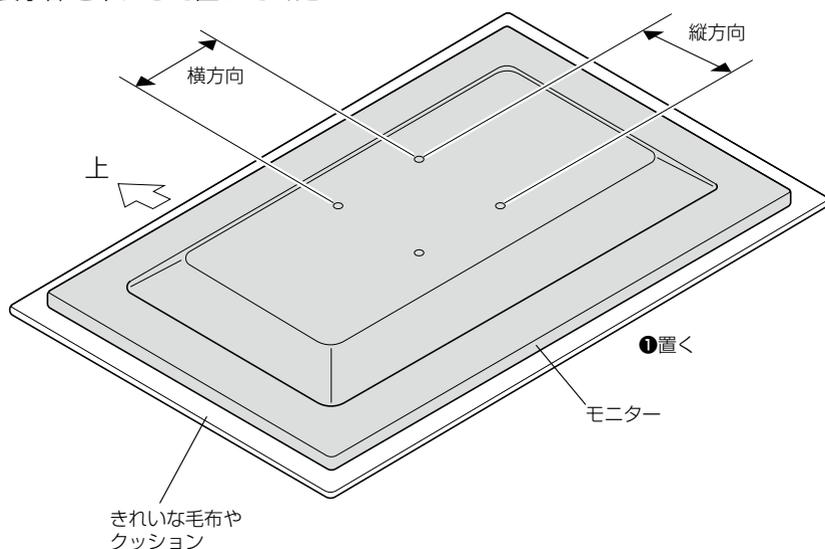


△注意

モニター取付業者様にクランプと天板の固定を依頼する場合は、モニター取付業者様に本組立説明書をお渡しして、モニター取付業者様は、**[6]**の工程のあと、**[7]**の工程へ進んでください。

[6] モニターの取り付け (モニター取付業者様向け)

- 1.モニター台が付属している場合は、モニターの取扱説明書を参照して、取り外してください。
- 2.モニターを、きれいな毛布やクッション材の上に、表示部を下にして置いてください。



2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

3.本体のVESAマウントとモニター
の穴位置を合わせて、付属
のM4×12ネジあるいは、M4×
10ネジを奥まで締め込んでく
ださい(4カ所)。

このとき、モニターとVESAマ
ウントが水平に取り付けられ
ていることをご確認ください。

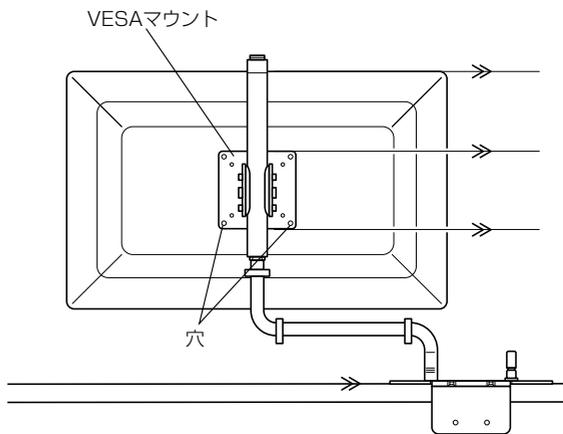
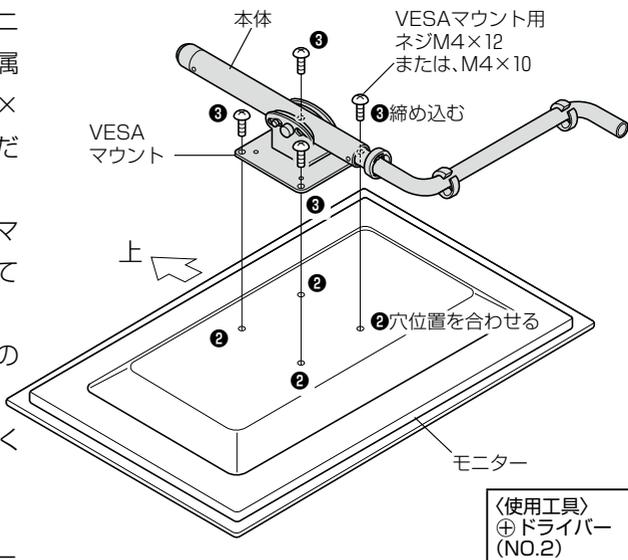
※固定ボルトのサイズは、モニターの
取扱説明書を参照してください。

※デュアルの場合は左右行って
ください。

〈ご注意〉

- モニターの取り付けは、モニ
ターに付属の取扱説明書を参照
の上で作業を行ってください。
- 最後までボルトが締まらない場
合や、ボルトが少ししか回って
いない場合、ボルトの径が合わ
ない場合は、市販の適切なボル
トを使用してください。
- モニターが水平に取り付けられ
ていても、モニターが左右に傾
く場合がありますので、モニター
アームをデスクに取り付けた後、
必ずモニターの左右の傾きをご
確認ください。

デスクやテーブルに取り付けた
後の調整方法は、「取扱説明書」
(kokuyo.jp/how/loopo)の「3.使
いかた」をご確認ください。

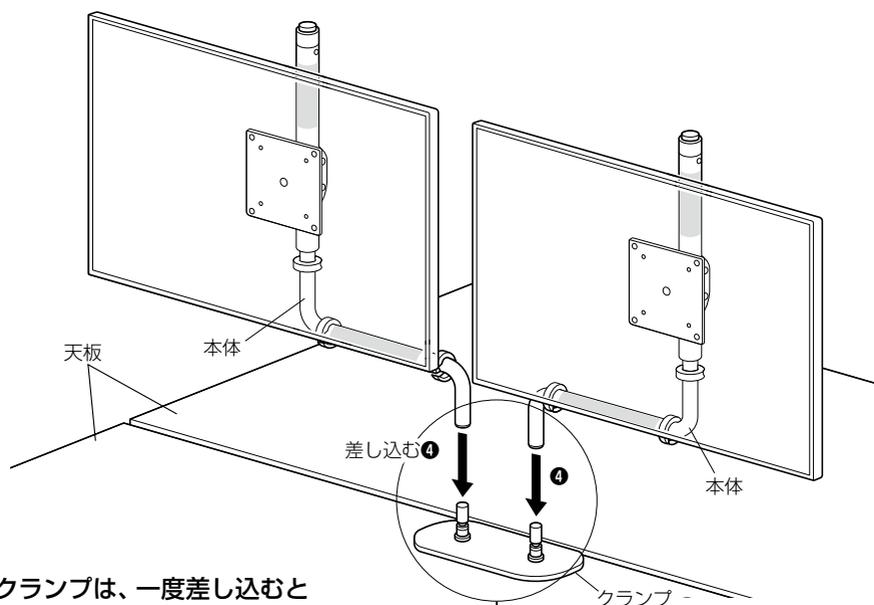


2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

4. 本体をクランプに差し込んでください。

このとき、本体の□部分を持ち、慎重に差し込んでください。

※デュアルは左右行ってください。

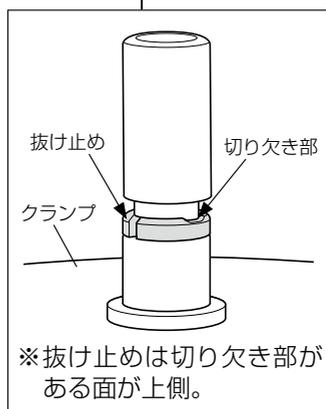


△注意

- 本体とクランプは、一度差し込むと抜けなくなります。
- クランプに抜け止めが付いていることをご確認ください。

抜け止めがないと昇降時に本体が外れてしまい、使用上危険です。絶対に外さないでください。

抜け止めが外れたときは、図の位置に抜け止めを取り付けてください。



2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

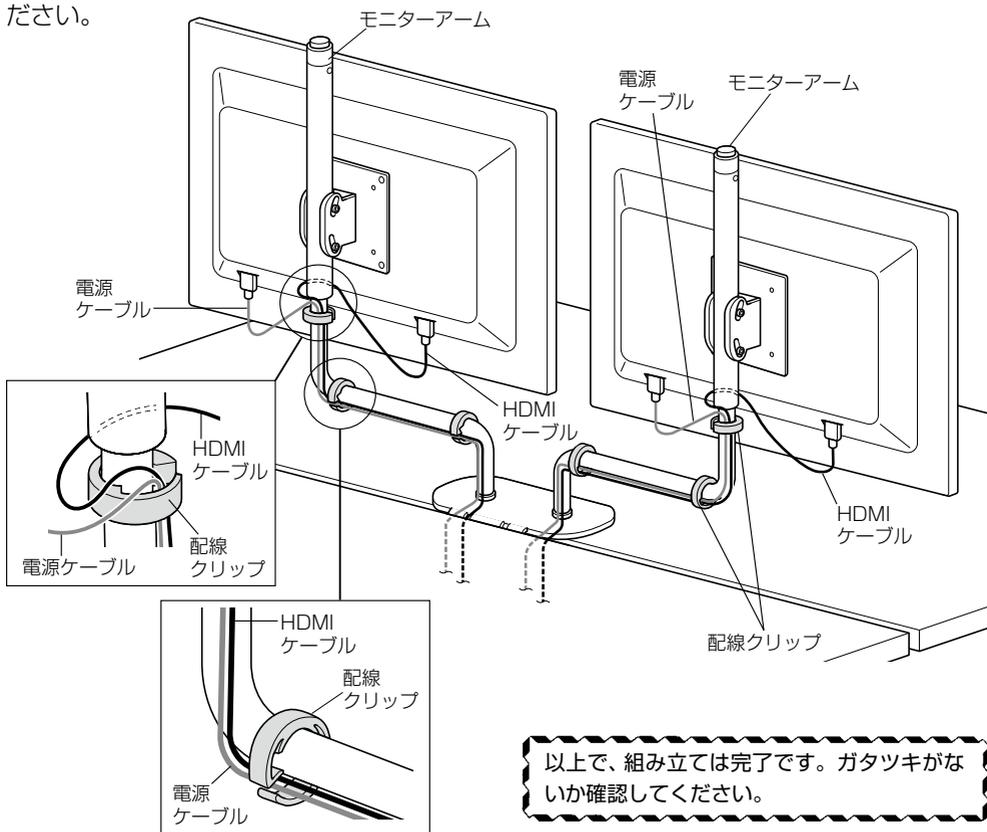
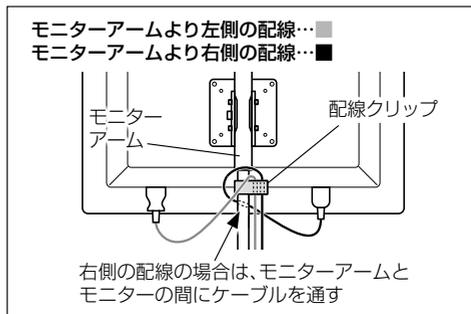
7 配線のしかた

モニター電源ケーブルとHDMIケーブルを、配線クリップに引っ掛けて配線してください。

※図はデュアルで行なっています。Lタイプロングは形状は異なりますが、要領は同じです。

〈ご注意〉

このとき、モニターを背面から見てモニターアームより右側にケーブルがある場合は、モニターアームとモニターの間にケーブルを通して配線クリップに引っ掛けてください。



⑧ デスクからの取り外し

⚠注意

- クランプからアームを抜かないでください。

アームは抜けない仕様なので、無理に力を加えると、製品が破損します。

- 製品の取り外しは、必ず2人以上で慎重に行ってください。

転倒や部品の落下により、けがや製品・モニターを破損するおそれがあります。

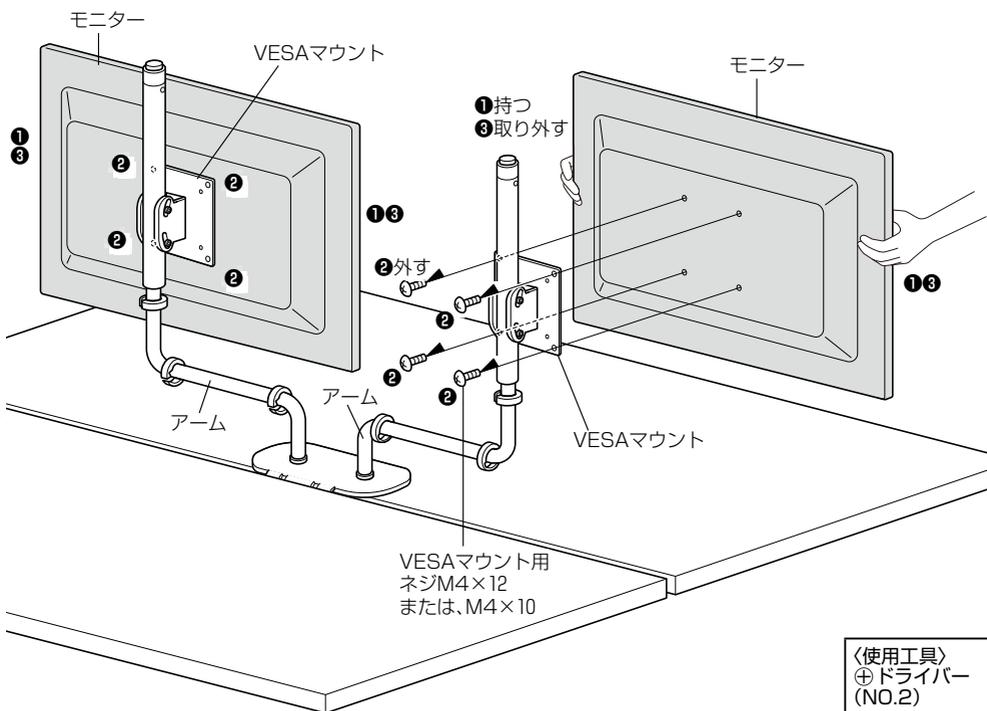
1.1人はモニターが落下しないようにモニターを持ってください。もう1人はモニターを固定しているボルトをゆるめて、モニターをゆっくりと取り外してください。

※デュアルは左右行ってください。

⚠注意

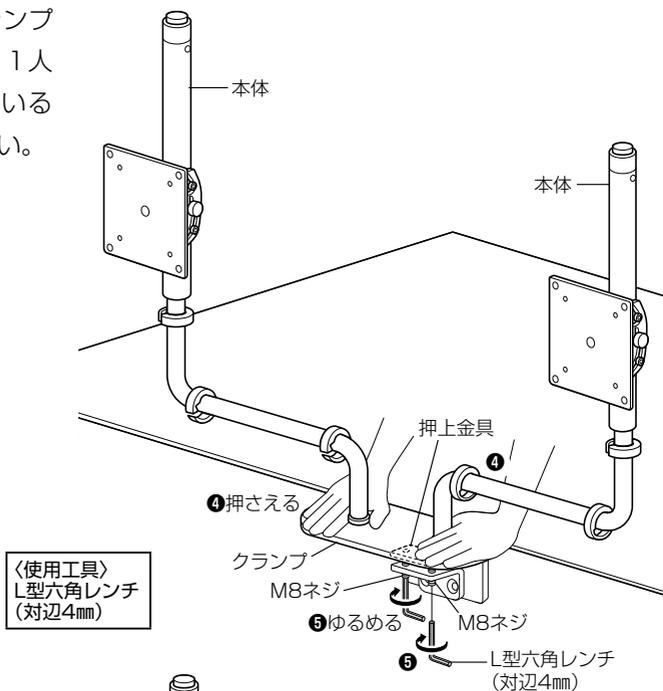
モニターの落下にご注意ください。

けがや破損の原因になります。

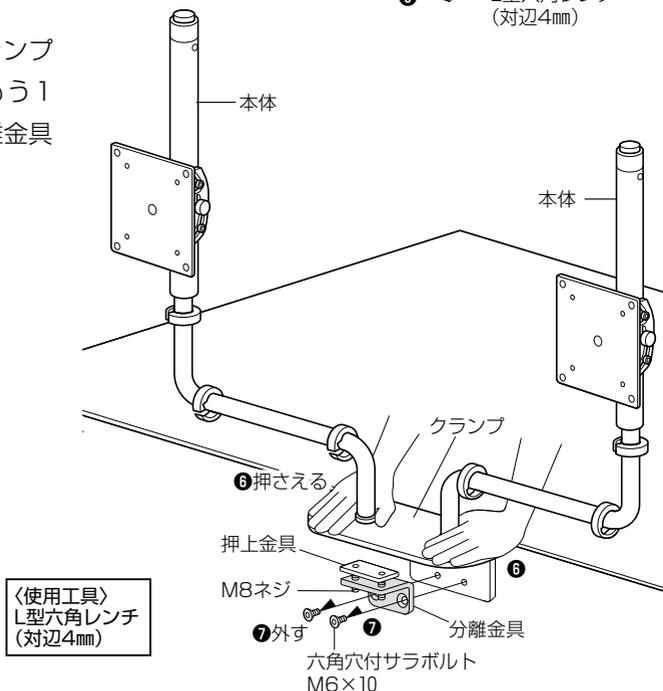


2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

- 2.1人は倒れないようにクランプを押さえてください。もう1人は押上金具を締めこんでいるM8ネジをゆるめてください。



- 3.1人は倒れないようにクランプを押さえてください。もう1人はボルトをゆるめ、分離金具を取り外してください。

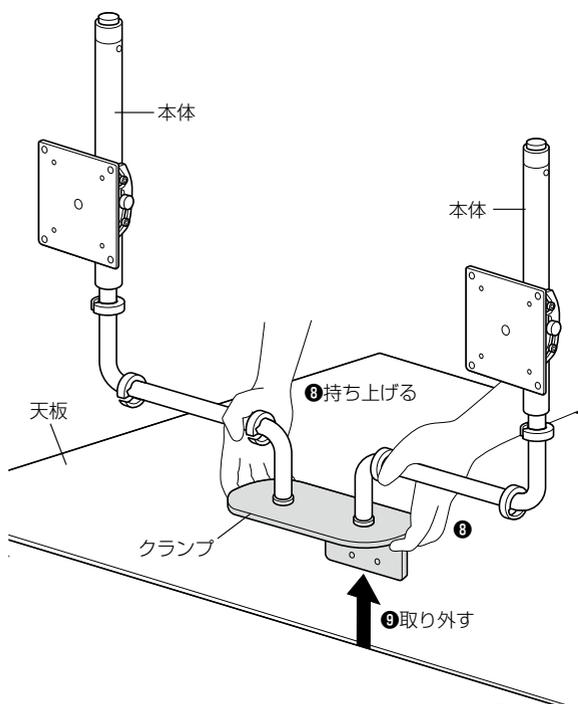


2.Lタイプロング/デュアルの組み立てかた

4. クランプを手でゆっくりと持ち上げ、デスクから取り外してください。

⚠注意

- 本体部分のみを持って、持ち上げないでください。
クランプが外れて落下し、けがや破損するおそれがあります。
- 重心バランスにより本体が旋回するので、周囲にぶつからないようにご注意ください。



コクヨ株式会社

本社オフィス 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
<https://kokuyo.com>

お問い合わせ、ご相談は

お客様相談室
<https://kokuyo.com/support>

